

最近の新聞記事より



全県民無料PCR可能

広島1日から感染把握へ

新型コロナウイルス対策で、広島県は26日、県内5カ所にあるPCRセンターで4月1日から、全ての県民と県内で働く人が無料で検査を受けられるようにすると発表した。転勤や進学などで往来や飲食の機会が増える時期に合わせて、無症状の人に検査を促し、感染拡大の兆しをいち早くつかむ狙いがある。県によると、全国初の試みという。(宮野史康)

PCRセンターは広島市に2カ所、福山、三次、東み、会場で唾液の検体を出し、広島の3市に各1カ所ある。陽性の場合、原則翌日に電話で連絡がある。センターの利用は現在、高齢者施設や医療機関の従事者などに限られている。

4月1日からは対象を広げる。転勤や進学、歓送迎会や花見などの機会が増える時期なのに加えて、国による首都圏への緊急事態宣言が解除されたのに合わせ、感染拡大の兆しがあれば、一定の地域での集中検査を検討するなど、早期に対策を打つとする。

PCRセンター	
期間	4月1日から当面
対象	県民と県内で働く人
予約	050(1741)6373 午前10時～午後3時
会場と開設日(時間は午前11時～午後3時)	中央新天地集会所(広島市中区新天地) 毎日 県営広島西飛行場跡地(西区観音新町) 毎日 旧福山港フェリーターミナル駐車場(福山市新漕町2丁目) 月、木、土曜 賀茂環境センター(東広島市黒瀬町国近) 水、金、日曜 みよしまちづくりセンター(三次市十日市西)
※福山市のセンターは4月1日からの移転先	
広島市の薬局での検査容器の配布、回収	
期間	4、5月
対象	広島市民と市内で働く人
予約	不要
指定薬局	市内205カ所

県は併せて、広島市内の205カ所の薬局で検査容器を配り、回収する仕組みを設ける。市民や市内で働く人たちは事前予約なしに薬局で容器を受け取り、唾液を入れて指定日に薬局へ提出。県の委託業者が薬局を回り、検体を回収する。陽性の場合に限って、原則翌日に電話で連絡がある。

湯崎英彦知事は県庁で記者会見し「いつでも誰でも検査を受けられるようになる」と強調した。協力する

市薬剤師会(東区)の中野真豪会長は「地域住民に身近で公衆衛生を担う薬局が、感染の再拡大を防ぐ一助になる」と述べた。

3月11日 中国

「えほんの国」3分の1規模に 福山市議会議長で市

福山市は10日の市議会議事特別委員会で、同市元町の天満屋福山店で5月に再開を予定する「えほんの国」の規模が以前の約3分の1になると明らかにした。

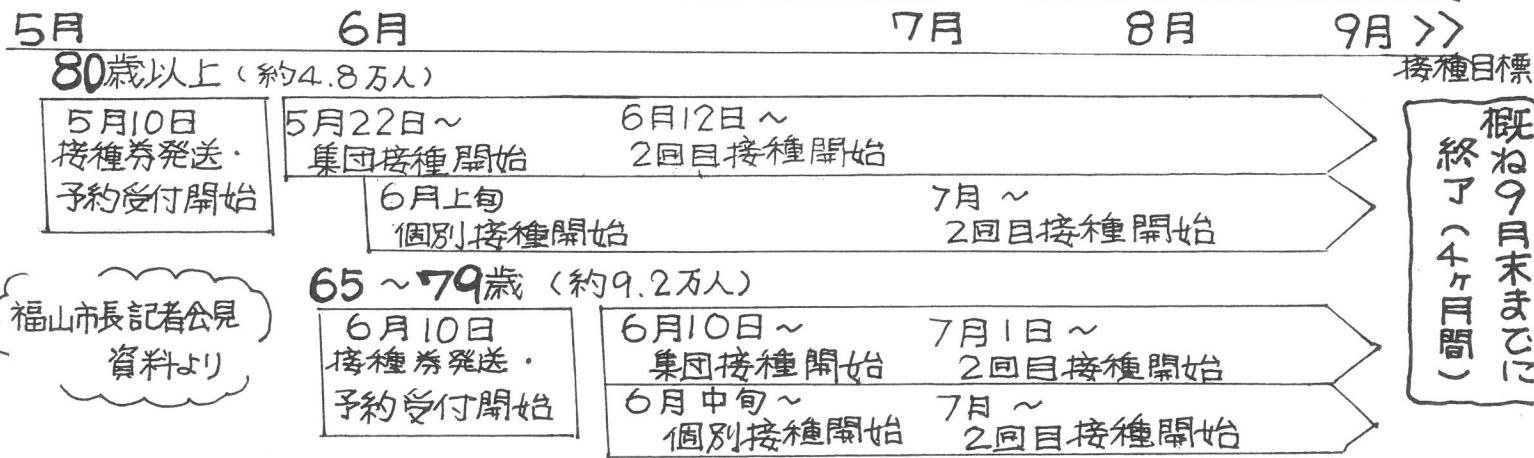
市側は、再開後の床面積は約330平方メートルと説明。「コンパクトになるが、人氣のあったものやニーズを踏まえ、親子で楽しめるイベントを開きたい」と強調

また、市側は賃料の見込みを年約1200万円とした。利用料はこれまで小学生以上は有料だったが、全員無料になる。



福山市 ワクチン高齢者接種スケジュール(予定)

*高齢者施設入所者の接種は4月26日～



福山市長記者会見資料より

予防対策を実施しています

<p>マスク着用を 実施しています</p>	<p>検温を 実施しています</p>	<p>換気を おこなっています</p>	<p>消毒を おこなっています</p>
<p>安心ガードを 設置しています</p>	<p>金銭の授受は コイントレイを使用しています</p>	<p>手指の消毒に ご協力ください</p>	<p>離れて お座りください</p>